

け、将来の1次から6次産業の活性化を図れるように努めてまいります。

商工観光振興・企業誘致については、国内の景気は緩やかに回復しつつあると言われているようですが、市内の消費動向はまだ厳しいものがあります。このため、個人消費拡大と商工業の経済活性化を図るため「プレミアム商品券」を発行します。

企業誘致につきましては、この地域に進出の可能性のある業種を調査の上、用地の先行造成について調査研究を進めてまいります。

人口の減少に歯止めをかけ、定住人口の増加につながるまちづくりを推進するためにも、企業誘致による雇用機会の拡大と税収の増加が、市の経済発展につながるものと考えております。

今後も定住化の促進、および幅広い業種を視野に入れた企業誘致を進めていくとともに、地域や企業の実情に沿った支援策の見直しについても着手してまいります。

教育と子育て支援の充実

御前崎市では、保幼小中高を「二つの学校」と捉える「スクラム・スクール・プラン」を推進し、授業公開などによ

り、教育の担い手の心を一つにし、「とぎれない教育」を実現させる、観（子ども観、学習観）の共有に努めています。

教育施設の整備につきましては、安全で安心して使用できるような適切な維持管理を行い、施設の延命化を図ります。平成27年度は、白羽小学校のプール新築工事や、校内のLAN環境の整備により学校間のネットワーク化を構築していきます。

少子化は、本市のみならず全国的な長年の傾向であり、政府も重点政策として位置付けています。将来を見据え、可能な限りの継続的な支援策は必須であり急務であると考えます。

このような点を踏まえ、平成27年度は子育てに特化した部署として「こども未来課」を創設し、充実を図ります。

新規事業といたしまして、第2子出産時や第3子以降の出産時に「出産奨励金」を支給し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。

また、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、市内の小中学校に通う児童の体操服などの購入を助成し、子育てしやすい環境整備を図ります。放課後児童クラブ事業については対象児童を6年生まで

拡大し、保護者の就労機会の拡大や「子どもの命を守る場」、家庭に代わる「生活の場」を提供できるように実施していきます。

4月から市内3カ所目となる認定こども園「御前崎こども園」がスタートします。園内には「支援センター」も開設され、より身近で地域の実情に即した子育て支援の充実に寄与できるものと思っております。

信頼される地域医療と福祉の充実

超高齢化社会を迎える中、地域の医療体制の充実が皆さんが最も必要性を感じている施策と認識しています。

医師の偏在による医師不足や地域格差は大変厳しい状況ですが、引き続き市立御前崎総合病院の医師確保に全力を注ぐとともに、中東遠地域を中心とした広域的な医療体制を構築するため、関係自治体および近隣病院との機能連携をさらに強化してまいります。

また、地域医療を担っている医師などの負担を軽減するためには、患者となる市民の意識改革も必要と考えます。

現在、「御前崎市地域医療を育む会」が中心となり、医療機関との関わり方、健康維

持・促進の普及啓発に取り組んでいただいておりますので、引き続き活動支援を続けてまいります。

開業医などの確保につきましては、診療所等開設資金支援事業により、新規に診療所などを開設する医師、既存施設を拡張する医師を支援することで、地域医療の確保に向けた取り組みを行ってまいります。

市民の健康寿命の延伸に結び付くよう健康づくり事業の充実、妊婦健診、予防接種の助成および乳幼児健診などでの相談対応など、母子保健の充実、育児不安を抱える親などの不安軽減、支援を必要とする子に対する早期療育を行うなど、支援体制の充実を図ってまいります。

快適な住環境の整備充実

全国的に汚水処理施設の整備が進む中で、合併処理浄化槽は効率的に整備することが可能な汚水処理施設とされます。ますます期待が高まっております。

当市におきましては、御前崎・白羽地区において、生活雑排水やし尿を処理する合併処理浄化槽の設置を推進してきました。本年度は、合併処理浄化槽設置に掛かる予算額を増額し、合併浄化槽の設置、

切り替えの推進を強化してまいります。

住宅管理事業につきましては、需要と供給のバランスを考えたがら整備を進めていく必要があります。市営住宅の耐用年数が半分以上経過している建物もあり、老朽化の進行を防ぐために、市が策定した市営住宅長寿命化計画に基づき、計画的な改修・修繕工事を行い経費削減に努め、皆さまが安心して居住できる市営住宅を提供してまいります。

公園管理事業につきましては、公園施設長寿命化計画を策定した後、快適な空間が提供できるよう、公園施設の遊具の安全性について計画的に検証し、市民の憩いの場として安全で安心して利用できる適正な維持管理に努めてまいります。

